

## 中国における医療ソーシャルワークの展開に関する考察

○ 龍谷大学 氏名 黄 驥 (会員番号 8338)

キーワード3つ：中国における患者のニーズ 看病難・看病費<sup>1</sup> 医療ソーシャルワーカーの支援

## 1. 研究目的

中国では1970年代の終盤ころより、「経済優先」の社会価値観のもと、市場競争原理が導入され、社会全体が急激に変動した。とくに1990年代以後、貧富の差、地域格差、レイオフ、貧困や生活保護などの社会問題がますます深刻化し、社会の安定を揺るがす大きな要因となっている。その背景の下、医療にも市場原理が導入され、医療費の高騰を招いた。社会科学院の『2007年社会藍皮書 中国社会情勢一分析と予測』（以下『社会青書』とする）によれば、深刻な社会問題は何かを尋ねた世論調査では、看病難・看病費（57.95%）、就業・失業（33.45%）、所得の拡大・貧富格差（32.06%）を挙げた。このように、中国では医療問題に最も関心が集まっている。特に、看病難・看病費、医療トラブル、医療—患者関係の悪化等の医療問題が大いに注目を浴びている。さらに、社会構造の変化にともなう少子・高齢化や家族機能の縮小、医学技術の進歩による疾病構造の変化などにより、老親扶養・家族介護の基盤が崩壊しつつある。結果として、高齢者の急増、とりわけ後期高齢者、虚弱病弱老人、寝たきり老人、認知症老人、独居老人など要医療・介護の高齢層が急激に増え、それとともに医療・福祉ニーズが飛躍的に増加することが明らかである<sup>2</sup>。

本研究は今日の中国において、市場経済への転換や医療保障制度改革等の社会状況によってもたらされた医療問題を分析するとともに、ニーズに関する先行研究を整理し、中国における患者のニーズの概念化を試み、それらに対応する医療ソーシャルワーカーの支援の方向を考察することを目的とする。

## 2. 研究の視点および方法

中国では急激な社会状況の変動によってもたらした看病難・看病費等医療問題の深刻化・複雑化が喫緊の課題となっている。そこに、医療ソーシャルワーカーの働きに大いに期待される。そこで、中国の社会状況の変動にともなう医療問題を分析し、それに対応する医療ソーシャルワーカーの支援を見定める視点が重要である。

また、中国の医療ソーシャルワークを展開する場合、様々な社会状況に起因する医療福祉ニーズを追求する必要がある。ソーシャルワークは個人または社会システムからのニーズを起点としている。ソーシャルワーカーは、クライアントや重要な他者に関するニーズが存在している状況を調べ、アセスメントする。したがって、中国における医療ソーシャ

<sup>1</sup> 診療を受けるのが難しく、受けられても医療費が高いという意味

<sup>2</sup> 沈潔編著 『中華圏の高齢者福祉と介護』 ミネルヴァ書房 2007 P67

ルワークの実践をいかに展開するかを確かめるためには、まず患者のニーズを明確化にすることが必要である。以上のことを研究するにあたって研究方法として、主に文献研究を行う。※可能であれば、患者のニーズを分析する際、調査研究（聞き取り調査）も行う予定である。

### 3. 倫理的配慮

本研究では、研究上の倫理的配慮として、社団法人日本社会福祉学会の研究倫理指針に基づいて、最大限に努める。

### 4. 研究結果

医療問題の分析に関して、計画経済体制から市場経済体制への抜本的改革、戸籍制度や医療保障制度改革により看病難・看病貴問題、医療格差問題等をもたらしたことが把握された。まず、医療機関に市場メカニズムを導入したことによって看病貴（医療総費用の高騰と個人負担の急増）がもたらされた。看病難について、医療資源が大都市に集中しているため、大都市の総合病院での診療を希望する患者が集中し、待ち時間が長く、診療する時間が短いため患者の主訴を丁寧に聞けないという傾向が見られる。そのため、患者が受診を難しく感じる主な要因となっている。医療と患者の信頼関係が構築できないような状況にある。医療格差については、統計等でも明らかなように、都市－農村間の医療費支出、医療保障および医療資源等の大きな格差が具体的に把握できた。

これらの医療問題に対して、現在医療ソーシャルワーカーは経済的負担の軽減、心理的社会的支援や受診、受療がしやすくなるような支援等を行なっているが十分ではない。中国における医療ソーシャルワークの展開には中国の医療福祉ニーズ（患者のニーズ）の明確化が必要である。そこで、患者のニーズの分析に関して先行研究のニーズの類型化等を参考に、筆者は身体・精神的ニーズ、経済的ニーズ、家族的ニーズ、職場や学校への復帰に関するニーズ、受診機会の格差に関するニーズ、生活の場に関するニーズ、文化・楽しみ・社会参加に関するニーズの7つの分類を、現在の中国のニーズを分析する枠組とした。

### 5. 考察

中国の医療ソーシャルワーク実践を概観すると、それぞれの病院が自主的に行なうことが多かった。その内容には不十分なところもあるが、医療ソーシャルワーカーの支援は中国において不可欠であると考えられる。そのために、患者のニーズに基づく医療ソーシャルワーク実践の展開、モデルを示す必要がある。